

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市川島地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

・川島東部地区は帷子川流域の平地と国道16号を挟んで広がる丘陵部からなる地区です。人口は徐々に減少しており、若い世代の人口減少により、高齢化率は上昇しています。ご家族から地域ケアプラザに相談していただける事もありますが、民生委員児童委員の方々からの相談もあり、一人暮らし高齢者の方への支援が多くなっています。地域福祉保健計画では、地域の方々とのふれあいウォーキングを全町内あげて開催し、4月3日は第2・第3町内会を、11月20日は第5・第6町内会を、地域の名所・史跡をたどりながら、地域交流を目的として行いました。次回は次年度4月9日を予定しています。保健活動推進員との共催で、地域住民に向けて医療健康に関する講座と介護保険制度の講座を行い、地域の方が知りたい情報を提供することが出来ました。ウォーキングの事業でも保健活動推進員と連携して開催しています。

・川島原地区は区北西部に位置し旭区と隣接しています。人口減少が進み、高齢化率は33%を超え、著しく上昇しています。陣ヶ下溪谷公園など緑豊かな地区ですが、駅からは少し離れており、住民の多くがバスや車を利用して生活しています。小学校が統合されてから、地域で子どもの姿があまり見られなくなり、子育て世代の状況が把握しにくい状況があります。地域や行政と情報共有し、子どもへの個別支援や地域支援について協働し、継続的に支援しています。昨年からは、くぬぎ台小学校跡のコミュニティを利用し、介護予防を目的とした居場所づくり事業を、地域役員やボランティア等のご協力をいただき開催しています。認知症の方の参加もあり、ボランティアの見守りや声かけなど、気軽に参加できるようにしています。コミュニティハウスで権利擁護事業や出張相談会、西原集會場で介護予防のウォーキングなどの事業も行いました。ケアプラザまで来られない方へ、ケアプラザの周知にもなりました。

・西谷地区は駅周辺の比較的平坦な土地で、商店街や施設があり生活しやすい地区です。しかし、昔からの住宅街では高齢化が進み、一人暮らし高齢者や要介護認定者数が多くなっています。駅から離れた地域の方々には、介護予防教室やサロン等に参加する機会が少なく、お互いが交流する場も少なくなっています。地域の身近な場所で集えるような場の確保が必要かと考えています。今後西谷駅開発により、大幅な利便性の向上が考えられますが、要介護者への的確な支援ができるように、小さなエリアでの地域状況を把握しながら、具体的な支援につなげていきたいと考えています。28年度は西谷地域での介護予防教室を展開し地域ニーズの把握に努めました。西谷商店街での西谷フェスティバルに参加し、ケアプラザの周知と健康促進のための身体測定を行いました。また地域へ出向いて自主活動団体での身体測定、高齢者食事会でのミニ体操教室など介護予防に努めました。

川島地域ケアプラザでは、今年度も積極的に地域に出向いた活動を行い、ケアプラザの周知や関係者との顔の見える関係づくり、ネットワークの構築と包括的ケアシステムの構築に努めていきます。28年度も定期的な地域ケア会議の開催など、多機関との連携強化を図りました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

施設管理の保守メンテナンスの業務委託を行い適切に管理しました。

施設点検を毎月最終金曜日に設定し、専門業者に委託し定期的な施設点検を適正に行っています。また職員による施設内の換気、温度設定、外光遮断、照明管理など毎日施設点検をチェック表に基づき行いました。またエレベーターの安全についても毎月の定期点検と自動ドアの点検も定期的に行っています。

毎月1回、職員による施設内外の清掃を行っています。手すりのさび取りや、高圧洗浄によるベランダの苔の洗浄や施設周囲の草取りを行い、施設管理に対する職員の意識を高めました。

貸室の日常清掃については、使用後に利用団体が清掃し、職員がその後の点検を行っています。館内は専門業者と職員が協力し毎日全館清掃を行っています。

イ 効率的な運営への取組について

ケアプラザの運営会議を毎月開催し、サービスの向上や、今後の事業に向けての検討や情報共有を図り、事業実施についての決定を行っています。事業もケアプラザの包括支援センターと地域活動交流、生活支援コーディネーターが協力し、互いに協力し実施しているため、5職種での定期的会議を毎月行うなど、部門間で連携を行いながら活動しています。

毎月のリーダー会議ではケアプラザ全体の活動方針の見直し調整と人事体制等の検討を行い、事業所内が円滑に運営できる体制を常に話し合ってきました。業務の進捗状況の確認と個別援助の見直し評価を行いました。毎月1回、全職員での援助の振り返りや支援についての事例検討会、研修等、職員のスキルアップが図れるような研修の機会を設け、指導を行ってきました。

それぞれの部門での会議を月一回設け、その中で日常業務での問題や情報交換を行い、業務の改善につなげています。

全職員で毎朝ミーティングを実施し、毎日のケアプラザ業務が支障なく、また効率よく運営できるよう、全職員で確認し調整しながら業務を行いました。定例会議だけでなく、必要時には職員員間声をかけ合い、検討する場を持つなど効率的な運営に取り組んでいます。

ウ 苦情受付体制について

各職員が丁寧にご利用者の意見を聞くように努め、小さな苦情でも所長に報告するように職員に周知しています。頂いた皆様からの声は所内会議で取り上げ、改善に努めています。苦情をいただいた場合はすぐに原因を特定・改善方法を検討し、今までも対応を行ってきました。そのご意見と対応内容は、館内の掲示板にある「お客様の声コーナー」に掲示し、来館者にもわかりやすく周知しました。

館内には相談窓口・苦情対応窓口・苦情受付責任者・公的機関苦情申し立て・第三者委員のお知らせを掲示すると同時に、各部屋にはご意見箱を設置し、広く多くの方々からご意見が常に頂けるようにしました。

施設利用に関するご意見等は、快適な環境でご利用いただけるように要望を取り入れ、子どもの自由な意見に対しては、分かりやすく規則を説明するように工夫しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯マニュアルなどを、もしもの時にはすぐに確認し実行できるように、事務所のわかりやすい場所に設置しています。

職員各自が緊急時に適切な行動がとれるように、年2回の消防・避難訓練と消火訓練・搬送訓練・避難器具（スローダン）の実習研修等を実施しました。9月は「消防署が教えてくれる消火・避難訓練」とし消防署の指導の下、訓練を実施、消火訓練・AEDの使用時の注意点を大人・子供の対応の違いなど教えてもらった。ケアプラザ職員だけでなく、地域住民の方、小学生、障害者施設の方等が参加しました。3月は調理し区からの出火を想定した避難訓練。避難器具のスローダンの使用方法や防火シャッターの利用方法などを確認しました。

地域の防災訓練に参加し、特別避難場所として地域と連携した支援ができるように情報交換を行いました。特別避難場所開設マニュアルを作成し、区本部との連絡方法や記録等、災害時の実践に向けた職員研修を行いました。

オ 事故防止への取組について

日々の業務の中で、ヒヤリハット・事故が発生した場合は、速やかに上長へ報告し、軽微なものも含め、全ての事故に対して報告書を作成しています。事故発生後は職員間で検討を行い、報告書には検討した具体的な原因と今後の対応策を必ず記載するようにしています。

28年度はバイクで地域を訪問時に、普通自動車と接触する交通事故が2件ありました。停車時に接触した事故と、路地から出る際に接触した事故でした。幸いにも大きな事故ではありませんでしたが、職員には常に安全運転を行うことを指導しました。

感染症対策として職員全員に感染症とその取扱いに対する研修と実習を実施し、来館者の体調不良に対して的確な対応ができるようにしました。処置対応が迅速にできるように、感染症対応セットをわかりやすい場所に設置し、感染予防を考慮した適切な対応ができるようにしました。感染症を疑う体調不良等の方への対応は、ありませんでした。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護研修を職員全員対象に実施しました。新任職員に対しては、個別に個人情報保護についての説明研修を実施し、認識を徹底し業務に携わるように指導しました。

個人情報を取り扱う際には、職員間でダブルチェックを行うことを必須とし、業務の中でシステムとして定着させています。個人情報の含まれる紙面は基本的には郵送としていますが、ファックスを使用する際はマスキングとダブルチェックを徹底しています。

定期的な介護保険に係わる個人情報の含まれた書類の郵送については、異なる職員の確認が3回入るよう、確認業務の流れができており、適正管理に努めています

個人情報のファイルや資料については施錠できる棚に管理し保管しています。個人情報の含まれる文書について、担当者が確認後に印刷できるように、複合機のセキュリティを設定し利用しています。

キ 情報公開への取組について

情報開示請求があった場合には、川島地域ケアプラザ情報公開規定に則り、積極的に情報を公開し対応していきます。

ケアプラザの情報は、毎月の広報紙や区の広報などを活用し地域住民へ情報提供しています。必要な内容については、地域掲示版の利用や、小学校、中学校にもチラシの配布協力を依頼し、事業開催の情報提供を行っています。

法人のホームページでは、関係施設の収支決算等の公表を行っています。ホームページには新規情報をタイムリーに公表できるように、定期的な情報更新を行っています。ケアプラザの活動状況がわかりやすく、見ていただいてわかるような情報提供を目指し、担当職員で検討調整しています。

館内での情報提供の仕方や掲示コーナーの改善と、地域の回覧や掲示板の活用と、地域会合等での周知を行い、幅広く市民の方に情報を提供しています。

ク 人権啓発への取組について

ケアプラザには高齢者から乳幼児まで、また、障がい者から病気を抱えている方まで、様々な方が来所されます。人権尊重の重要性について、職員に対し研修や勉強会を開催しています。実際に精神障害を持っている方の対応の仕方や、認知症の方への接し方について等、職員全員で1つの方向性をもって支援していけるようにしています。また、川島小学校の児童にも福祉学習として偏見なく人権感覚が磨くことが出来るように支援しています。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ごみの分別を徹底し、裏紙使用できるものは資料やメモ等で有効利用しています。オール電化のため、使用していない部屋の照明、空調はこまめに切り節電を心がけました。各部屋には節電協力のステッカーを貼り、施設利用者の方にも協力を促し、適切な空調温度の設定維持に努めました。毎月省エネのチェックリストにて点検を行い、施設内の節電管理が実施できているかを確認しました。

毎朝職員が、施設の玄関周りや駐車場等、施設環境を確認し、適宜清掃や除草を行い、快適な環境維持に努めました。

職員がご利用者様のご自宅を訪問する際には、車の使用避け電動自転車・スクーターを使用し、二酸化炭素の排出量の抑制を心がけました。

敷地内の緑化については、専門業者に植栽等の手入れを依頼し、木々の配置や分量について調整していただき、環境保全に努めています。

毎月1回、職員で施設内外の清掃を行いました。全職員が継続して施設の環境整備に努めました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

社会福祉士	1名
主任ケアマネジャー	1名
保健師	1名
介護支援専門員（兼務）	1名

計画的に人員補充を行っており、適切な運営ができています。

《目標》

- ・可能な限り自立した生活が継続できるよう、ご本人の意思を尊重し、その人らしい生活の維持向上が図れるように支援しました。
- ・ご本人の状態に合わせて介護予防プランを作成し支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

実費負担はなし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・関係機関と連携をとりながら、適切なプラン作成を行っています。
- ・必要に応じて、インフォーマルサービス、地域資源の紹介を行い、ケアプランに取り入れた支援を行っています。
- ・職員間で支援を共有し、緊急対応等が常に確実にできる体制をとっています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
142	146	139	136	134	134
10月	11月	12月	1月	2月	3月
132	126	135	135	147	150

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員	常勤専任	2名	(主任介護支援専門員	1名)
	常勤兼務	1名	(主任介護支援専門員	1名)
	非常勤兼務	1名		

《目標》

- ・「理解していただける説明」を常に意識し、ご本人、ご家族にわかりやすく説明を行ってきました。十分に介護保険をご理解していただいた上で、具体的な支援を行ってきました。
- ・福祉サービスや医療サービスが総合的に提供され、ご本人の自立した生活を支援できるよう、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業者、関係機関等の連絡調整を適正に行ってきました。
- ・居宅会議事業所独自のお客様アンケートを実施し、評価検討を行い、サービスの向上に努めました。
- ・地域サービス事業所情報を収集し、その都度情報をまとめ更新しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

実費負担はなし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・特定事業所加算Ⅱを算定取得しています。支援困難事例への対応や専門性の高いマネジメントが提供できるように、事業所全体での研修の充実を図りました。
- ・事例検討会や勉強会、伝達講習会等、毎月学習の場を設け、より良いサービスの提供を目指しました。
- ・ご利用者様に向けて、広報紙「エスポワール」を作成し、アンケートの集計結果や介護保険サービスについての情報を配布しました。
- ・施設内には川島地域ケアプラザ居宅介護支援事業の職員紹介と介護保険制度についてわかりやすくパネルにして紹介し、地域住民へ情報提供を行いました。
- ・災害時のご利用者の安全確認の手段等について検討し、災害時利用者情報を作成しました。今後、災害時対応について継続的な取り組みを行っていきます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
92	93	93	94	98	102
10月	11月	12月	1月	2月	3月
98	94	94	91	92	93

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

1. 今年度も出前講座「メッセンジャー川島」を精力的に実施。地域の民生委員会議や、地区社協、老人会、サロン、体操教室等に出向き、生活に関する情報提供や運動・体操、ケアプラザの役割や各事業の周知などを積極的に行った。
定期的に参加していることで顔の見える関係と相談しやすい関係性をつくることができた。
2. 出前講座「メッセンジャー川島」で地域に出向いた際には相談を受けられる体制をとることができた。気軽に相談を受け、支援の方向性を示し、訪問等で対応するケースが数件あった。
民生児童委員の会議では高齢だけでなく、精神障害者や子どもに関する相談や情報提供も頂いた。5職種で共有するほか、区への情報提供・連携を行った。
3. 今年度は、包括域地域ケア会議を実施し、テーマを「金銭管理」としたことからエリア内の金融機関に出席の依頼と同時に、「川島見守りほっとライン」、「川島 SOS ネットワーク」の協力依頼を実施。ケアプラザの役割を周知すると共に関係者の顔の見える関係性を築けた。今後も継続的に行っていく必要がある。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

1. 5職種の定例会議をもち、情報共有をしながら、事業調整を実施した。包括担当者と生活支援コーディネーターがともに地域の会へ出向き、顔の見える関係づくりにつなげた。
2. ケアプラザアンケートは約 570 名の参加があった。西谷地域住民の要望としては声かけ挨拶が一番多かった。地域福祉保健計画でも挨拶をテーマに検討しており、ニーズをとらえた活動となっている。今後は世代別のニーズをとらえるよう再検討していく。
ケアプラザアンケート結果では、地域で立ち話できる女性は多いが、挨拶程度という方が次に多く、男性では一番多く、近隣との希薄さが見られた。女性は一人暮らしの方が多く、男性一人暮らしの方は参加がないことが分かった。今後の事業に活かしていく。

3 職員体制・育成

1. 毎月定期的な研修を計画し実施できている。個々の課題に向けて何を学びたいかを確認し、内容を調整した。
2. 事例検討や認知症、感染症、ストレスマネジメントと職員の実践につながるように、必要な研修については全職員対象として実施した。
3. スローガンの策定・評価も継続実施し、事業所内のサービス向上を図っている。法人内での習熟度別の研修にも対象者は参加した。
4. スローガンの実施と評価継続と毎月の研修会の継続実施、法人内の教育会議を継続的に実施した。それぞれの評価を行い、次年度の人材育成に活かしていく。

4 地域福祉のネットワーク構築

- 1、西谷フェスティバルには5職種で参加し、ケアプラザの周知と健康測定を実施した。昨年より多くの方がブースに立ち寄り、300名と多くのアンケート協力を頂けた。
- 2、西谷保育園にて健康教室を開催した。実際は西谷エリアの方々の参加は少なかったことから、開催場所の再検討が必要である。
- 3、小学校全学年への人権学習支援を実施した。各学年の目的を担当教師と確認設定し、事業を企画実施した。
講座後の子ども達のアンケートから、伝えるべきことを感じてもらえた意見が多く、今後更に学習の充実を図っていく。
- 4、個別事例については地域役員や住民から相談があり、連携をとりながら対応できている。会議参加時に情報を共有し、地域との連携を日常的に密にとることができている。

5 区行政との協働

- 1、ほっとなまちづくりの活発な運営を目指して、支援チームと協力しながら積極的に取り組んだ。地域の特性を理解したアプローチをし、それぞれに地域エリアの状況に応じた支援を考慮し実践できた。
- 2、地域ケア会議は定期的に年4回開催。地域課題となっている内容をテーマとしてとらえ、検討を重ねた。今年度更に、地域ケア会議への理解と関係機関との連携を深めることができた。
- 3、行政機関との連携を適宜とりながら地域の相談窓口として、情報の共有・連携と的確な支援を行った。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 地域支援者情報誌「つながるほっとページ」の更新版(第3版)を発行予定である。「地域支援者交流会」にて情報誌を活用しながら地域支援者活動紹介を行っているが、今年度は活動の様子がよりわかるように活字だけではなく、写真も活用したパワーポイントで紹介を行う予定である。
2. 5職種で地域支援者情報誌「つながるほっとページ」の配布場所の検討を行った。インフォーマルサービス情報を必要とする民生委員、ケアマネジャーへ配布を開始し、情報を必要とする地域住民へと繋がっている。ケアプラザ館内でも配布を行い、地域支援者やボランティアだけでなく、地域住民へと広く情報提供を行うことができた。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 地域に出向いた際に貸室周知を心掛けていたが、相談対応や自主事業案内が中心となった。個別に地域住民から活動場所の相談、問い合わせがあった際には、できるだけ協力できるよう貸室案内を行った。
2. H28.11の貸室利用相談会で個別相談はなかったが、貸室利用の問い合わせがあり、貸室の周知につながった。利用につなげられるよう、地域住民が参加しやすい内容を検討していく。
3. 自主事業「すまいるぷらす」では、貸室利用団体へ協力依頼の声かけを行い、活動の活性化を目的に講師として参加してもらうことができた。貸室利用団体の参加者の増加と新規登録につなげることができた。また、他の自主事業に協力頂いた団体も参加者増加となった。
4. 「健康フェスティバル」のステージにて貸室利用団体の活動の場を提供し地域住民と一緒に体操を実施。「川島文化祭」では、地域コンサートとして、文化系の団体へ活動の場を提供した。計12団体の日頃の活動紹介、活動周知の場となった。
5. H29.3に「地域支援者交流会」を実施予定。貸室利用団体へ参加を呼びかけ、今後地域活動に協力依頼できるよう地域の活動を知ってもらう機会とする。

3 自主企画事業

1. 「健康フェスティバル」200名「川島文化祭」600名は地域役員、ボランティア、貸室団体の協力の元、開催。事前の事業内容検討会で、地域ニーズにあった事業となるよう地域役員の意見を伺っている。反省会等で、内容が充実してきているとの意見を地域から頂いた。ボランティアからも、改善点等の意見や、楽しくボランティア活動ができる機会であると参加協力の継続意思を頂いた。
2. 今年度中に自主事業でアンケートを実施予定である。参加者とボランティアと内容を変え、自主事業への要望、協力の意思を確認する。アンケート結果に基づき、来年度の事業内容を検討し実施していく。
3. 5職種連携事業「メッセンジャー」で「西谷フェスティバル」に参加しアンケートを実施。子どもから高齢者まで、約300名の協力を得ることができた。アンケート結果として、ケアプラザの周知がまだまだ必要であることがわかり、今後の活動につなげていく。文化祭アンケートは260名の協力があり分析していく。
4. 自主事業「すまいるぷらす」は体験講座を4事業実施し参加者の要望を伺い、自主化を見据えた自主事業として「すまいるフォークダンス」を実施。1事業は大正琴の貸室団体として自主化となった。「すまいるフォークダンス」は今年度中に自主化について参加者に理解を促し、来年度後方支援をしながら自主事業として展開していく予定である。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

1. 今年度中にボランティアへアンケートを実施予定。アンケート内容は現在の活動の満足度、悩み等とし、今後もよりよい活動ができる環境づくりに活かしていく。直接話をする機会を設け、希望があれば個別面談を行う。
2. 「健康づくり隊」はH29.2月より5職種連携で実施する。ボランティアや地域活動支援者へ参加案内を行い、活動の活性化を目指す。また、自主事業や地域活動の場で学んだレクリエーションを披露してもらい、ボランティア体験とする。ボランティア未経験者に対しては今後のボランティア活動に繋がるよう後方支援を行っている。
3. 「地域支援者交流会」ではケアプラザボランティアが地域支援活動に興味を持ってもらえるよう、地域支援者との交流が図れるよう内容を検討している。
4. 「男みがき塾」の参加者に園芸ボランティアとしての協力を依頼した。今後の活動については、話し合いの場を持って、来年度の活動を検討していく。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

1. 今年度も「メッセージャー川島」として地域への出前講座を多数実施。地域の方々からの出張依頼が増え、定期的に伺っている地域のサロンや体操教室もある。地域の方との連携が深まっている。
2. 医療連携会議や権利擁護関連の講座や相談会にて積極的に声掛けを行い、何かあれば相談できる関係を築けるよう努めた。
ケースで関わった他機関の方とその後の経過や新たな課題などについての情報交換を継続的に行った。
退院調整時には医療機関と状況報告等ができ、連携体制の強化と橋渡しができた。
3. 今年度は、エリア内の金融機関に出向き「川島見守りほっとライン」、「川島 SOS ネットワーク」の協力依頼を実施しケアプラザの役割を周知し、連携する必要性を理解していただくことができた。
4. 包括支援センター内でケースの情報共有や支援の方向性を確認し、
精神障害の方や物盗られ妄想のあるケース対応については職員全員で協議し、方針を定めることができた。
5. 夏（7～8月）と冬（12～1月）にかけて独居の方や定期的な声掛けが必要なケースに対し、TEL もしくは訪問で安否確認を実施。継続的に実施しており、感謝されることも多い。「何かあっても相談できる所があるという事が安心感につながる」と言葉を頂いた。

地域包括支援ネットワークの構築

1. 関係機関や住民組織への認知症サポーター養成講座や地域ケア会議で「地域見守りほっとライン」の周知を実施。気になる地域住民がいればケアプラザへ気軽に連絡頂けるよう依頼し連携につながっている。
2. 「川島 SOS ネットワーク」は金融機関等へ協力依頼を行っている状況である。
3. 民生委員の方々からは「川島ほっとライン」にて同行していただくこともあった。
相談できる機関として地域包括支援センターの役割を理解していただいた。
4. 5年間相談対応や実態把握をしてきた中で「金銭管理が困難な高齢者への支援」と「精神障害者への支援」の2つを地域の課題として見出した。2つの課題に対し、包括域地域ケア会議を実施。地域の自治会会長や民生委員、医療、警察、介護、商店などの関係機関に出席していただき、現状報告と皆でどんな支援ができるか話し合った。情報共有を行えたことと、対象者に対し地域や関係機関全体で見守り支援できる体制が重要であることを確認できた。その中心的な役割をケアプラザが担うことも理解して頂いた。

実態把握

1. 各地区の社会福祉協議会や民生委員児童委員の定例会に参加し、情報交換を実施。民生委員の方が地域で活動している中で気になる方や地域の課題に対し話しあい、実態把握を行うことができた。
2. 四半期報告様式7を改良し、エリア内の地区ごとにどんな相談が多いのかデータで出力できるようにした。半年ごとに集計し、地区ごとの特性の明確化をはかった。
3. 出前講座「メッセージャー川島」や川島文化祭にて地域の方の生活アンケートを実施。集計結果を考察中である。地域課題を明確にし、今後の活動の指針にしていく。
4. エリア内の実態把握と地区の特性が明らかになってきている。今年度はケアプラザ

から遠く、団地が多い川島原地区を重点に権利擁護関連の講演会や相談会を実施した。

5. 「川島ほっとライン」として民生委員の方と同行訪問する際に地域の現状や特色を直接伺うことができた。アンテナを張り巡らすことが地域理解につながっている。

2 権利擁護

権利擁護

1. 「川島くらしの相談室」を定期開催。
参加者は少数であるが、身近な相談機会となっている。今後の方針が見えてくることで高齢者の心の安心につながった。
2. くぬぎ台コミュニティハウスにて「老い支度を考える～エンディングノートを書いてみましょう～」講演会&相談会を実施し、16名の参加。自ら進んで参加される方は少ないが、関心度は高く必要性も高い。開催形式や情報提供の再検討を行っている。
3. 普及啓発として地域の会合や介護者の集いなどにて消費生活問題の普及啓発や成年後見制度、あんしんセンターの周知を行った。
4. サポートネットにて専門家の方との情報交換、事例を通じ様々な知識を得ることができた。ケースでは金銭管理が困難な方に対し、関係機関と連携をとり支援ができた。

高齢者虐待

1. デイサービス事業所から身体的虐待のおそれの相談が入り、ケアマネジャーと同行し状況確認を行った。サービス導入の拒否から区役所とケアプラザで定期訪問を行い、支援の方向性を随時確認した。関係機関と連携し、変化が起こった際にすぐに対応できる体制を整えている。
2. 社会福祉士分科会にて今年度から「虐待班」をつくり、虐待に関する普及啓発に力を入れた。ケアマネジャーやデイサービス、訪問介護事業者所を対象とした高齢者虐待の普及啓発を行う機会をつくり、虐待に関する感度を上げ、気軽に地域包括支援センターへ連絡して頂ける様支援した。

認知症

1. 金融機関へ出向き「地域見守りほっとライン」の普及啓発を実施。認知症の方とのトラブルが増えている状況はどの金融機関も共通であり、情報共有と支援の輪を広げていく必要性を周知した。
「川島 SOS ネットワーク」の協力依頼は各店舗の判断で対応できない状況があり、同意を得ることが難しかった。
2. 小学校やタクシー会社でのサポーター養成講座に加え、川島ケアプラザやマンション住民の勉強会の場でサポーター養成講座を計6回開催した。
川島ケアプラザのサポーター養成講座では一般募集とともに、ケアプラザ全職員対象として開催し、認知症に対する理解を深めた。
H29年2月例年の西谷中学校の3年生を対象にサポーター養成講座を開催予定である。
3. 「～介護者のつどい～やきいもの会」は介護者もしくは介護を卒業された方が参加され、それぞれが抱えている介護に対する精神的な負担軽減と、くつろぎ、癒しを提供することができている。
4. 西谷地域認知症キャラバンメイト連絡会の定例会に4回出席し今後の活動方針の相

談や支援を行った。

川島ケアプラザで開催したサポーター養成講座では参加者に向けて活動報告やPRの場を設けた。

キャラバンメイトにも「ぬくぬく」事業へのボランティアとして参加して頂き、認知症の方の見守りや認知症予防のレクリエーションに協力を頂いた。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

1. 総合事業への移行の一年だったが、3回所内で総合事業に関する研修を開催。疑問に感じている事を解消し、情報共有した。
また、第3木曜日を予防給付や総合事業に関する会議の定例開催日とし、包括職員やプランナーで情報共有をおこなった。
2. 9月「川島さくらんぼ」では、介護予防サービス・支援計画書の作成と介護予防アセスメントの具体的な進め方について勉強会を開き、自立支援に向けた考え方を再確認した。
3. 10月「川島さくらんぼ」勉強会では、基本チェックリストなど実際自分たちがかわるケアプラン作成などの意見交換を行い内容について確認し合った。
4. マンションの勉強会で介護保険について勉強会の依頼があり、「メッセージ川島」として講座説明に出向いた。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 地域の民生委員や地区社会福祉協議会等の関係機関の会合に毎月参加し地域の状況など情報共有と課題解決に向けて支援した。インフォーマルサービスの活性化のため地域活動への訪問と後方支援を行った。「つながるほっとページ」や「地域マップ」を年1回更新し、地域住民やケアマネジャーに情報提供している。
2. タクシー会社やマンション住民、学校で認知症サポーター養成講座を行った。民生委員児童委員とも相談・連絡・報告を行い「川島ホットライン」など協力体制を強めた。
「メッセージ川島」では地域住民に、新しい介護保険制度や横浜市総合事業・ケアマネジャーの業務など周知し、地域の力とボランティアの重要性を理解して頂いた。
フェスティバル in 西谷 2016ではミニ健康測定やケアプラザの周知と地域アンケートを行い、アンケートは300名の協力を得た。
3. 包括域地域ケア会議を年4回定期開催し、金銭管理に不安のある方への支援について話し合い、12月は精神疾患を持つ方へ支援対応について、疾患理解と支援策の方向性を検討した。
4. 民生委員児童委員とケアマネジャーとの連絡会は7月に多職種連携会議とし、港北病院の山口院長に「レビー小体型認知症について」の講義を頂き、多職種で事例検討を行い地域力向上と、顔の見える関係づくりを行なった。
1月は東海林歯科医師より「口腔からの病気の危険性と口腔ケアの必要性について」の講演会をと口腔ケア実習を行う予定である。

医療・介護の連携推進支援

1. 地域の医療機関に、協力・連携に向けて年1回以上訪問している。居宅介護事業所を毎月戸別訪問して、顔の見える関係作りと連携を強化した。地域の介護事業所にも適時訪問しネットワーク構築支援を行った。
2. 医療相談室や、総合病院、地域の医療機関とは随時連絡を取り合い個別支援のため情報共有、調整対応している。
7月「家族が困惑したレビー小体型認知症」の講義と事例検討でグループ討議など、多職種連携会議を行った。各機関とのつながりや連携体制について話し合った。
3. 地域住民に向けての地域交流の健康講座では、毎月医師より医療や健康に関する情報提供している。介護事業所からの参加もあり知識向上と介護予防を図っている。

ケアマネジャー支援

1. 居宅介護支援事業所に「川島虹色通信」や「リーベ川島」を持参し毎月訪問している。多問題ケースの情報共有やケアプランについての相談などを受け支援している。
2. ケアマネサロン「川島さくらんぼ」は、年10回ケアマネジャー間で気軽に相談ができる関係づくりと情報交換・勉強会を行っている。
「川島さくらんぼ」勉強会では適正なケアプラン作成や制度、事例検討等を実施。
3. 介護保険の情報誌「川島虹色通信」を年10回配信し、制度改正など知りたい最新の情報を提供している。
4. 区・包括合同での勉強会研修会、ケアマネジャーの勉強会を区内合同で企画実施し、質の向上、底上げを図っている。福祉機器センター見学会、学習会等とケアマネジャー間の関係づくり、今後の活動に向けての情報提供など育成支援した。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

1. 個別地域ケア会議は現在検討中。
2. 包括域の地域ケア会議を定期的（年4回）に開催し地域ケアシステム構築を図る。認知症で金銭管理が出来ない方への支援では防犯、個人情報の問題等、多職種で検討できた。地域の小さな情報（井戸端会議）が早期発見につながり、近隣との関係作りが有効等の話し合いができた。
12月は精神疾患を持つ方への対応について、精神疾患の理解のため医師より講義と、地域実情について話し合った。2月に具体的な連携について話し合う。
3. 多職種連携会議は7月「家族が困惑したレビー小体型認知症」で、港北病院院長の山口院長より講義を頂き、事例検討でグループ討議を行った。職種での考えの違いの理解と連携の必要性などネットワーク構築に向けて話し合った。医療機関24名、ケアマネジャー36名、民生委員20名、区包括7名が参加した。
包括合同での多職種連携会議全体会では医師会の協力もあり講演会やグループワーク、交流会の3部だてで公会堂にて開催した。

介護予防事業

介護予防事業

1. 前年度まで把握しているグループには生活支援コーディネーターとともに挨拶にまわり、顔つなぎを行った。今年度自主化したのは「スマイルヨガ」「ワンツート体操」「リフレッシュ体操」の3つだが、スムーズに自主運営できるように誘導、活動継続の後方支援を定期的に行った。
2. 現在2グループにきらりシニア塾認定を打診中。今年度中に認定できるようにしていく。
3. つながるほっとページを現在更新中。地域支援者連絡会でより内容を深め活動が継続してできるようにする。地域住民だけでなく、地域のケアマネジャーへも情報誌として情報提供と活動支援を実施した。
また、今年度は健康づくり隊フォローアップ事業として認知症予防ファシリテーター研修を実施。10名の参加があり、地域の既存グループに持ち帰っていただくとともに、来年度立ち上げ予定の介護予防事業のボランティアとなって頂けるよう支援していく。
4. 6月～9月にかけて第1土曜日に西谷保育園にて西谷元気塾を開催。
運動のニーズが強く、体操には多く参加されるが、サロンや講座への参加が少なかった。

生活支援体制整備事業

1. 地域に包括職員と出向き、顔の見える関係づくりを行いながら地域の情報収集、活動上のニーズ把握を行った。収集した情報は「つながるほっとページ」に掲載し第3版として発行した。また活動情報のシートの作成を行っている。西谷フェスティバルや川島文化祭での、地域アンケートを実施し、多世代が地域のつながりや挨拶が大切であると意識を持っていることがわかった。
2. 協議体について、5職種で話しあい、ケアプラザ内で意見をまとめた。
地域ケア会議や地域の定例会議等へ参加し、日常生活圏域の情報収集と現状把握を行っている。
3. 地域支援者交流会を実施し、地域支援者同士の交流や情報交換の場を設けた。また地域支援者情報誌を配布し、掲載しているすべて活動を紹介し、情報提供を行った。
4. ケアプラザに来館することが困難な地域住民を対象にケアプラザの周知とニーズ把握のために出張事業『ふれあい』を民生委員の協力で実施した。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市川島地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	17,556	22,568	150					5,789
	介護保険収入				4,255	18,122			
	その他								
	介護予防ケアマネジメント費				3,652	178			
						調査料 384			
	収入合計(A)	17,556	22,568	150	7,908	18,684			5,789
支出	人件費	12,949	20,921			15,119			3,586
	事務費	2,146	1,934			870			
	事業費	614	848	151					160
	管理費	2,428	646						
	その他 消費税	1,036			委託料 3,977				
	支出合計(B)	19,173	24,349	151	3,977	15,989			3,746
収支 (A) - (B)		-1617	-1781	-1	3931	2695	0	0	2043

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入				
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ハッスル体操	①65歳以上の区民	200946		32600	200946		
	②209						
	③200						
ビギナーヨガ	①65歳以上の区民	67219		43800	66820	399	
	②228						
	③200						
あったかサロン めくめく	①地域住民	23160		16900		23160	
	②254						
	③100						
認知症サポーター養成講座	①地域住民	6042		0		6042	
	②402						
	③無						
川島元気塾	①65歳以上の区民	55454		0	51000	4454	
	②56						
	③無						
川島健康づくり隊	①65歳以上の区民	31274		0	30000	1274	
	②38						
	③無						
健康づくり隊フォローアップ 「認知症予防アンリナー ター 研修」	①65歳以上の区民	80607		5000	80607		
	②16						
	③500						
地域後方支援事業	①65歳以上の区民			0	0	0	
	②297						
	③無						
川島さんぽ	①65歳以上の区民	2465	0	0	0	2465	0
	②92						
	③なし						
出前講座メッセンジャー川島	①地域住民	11735		0		11735	
	②952						
	③なし						
クックGメン	①65歳以上の男性区民	35741		24400		35741	
	②77						
	③400						
クックGG	①65歳以上の男性区民	9000		0		9000	
	②64						
	③なし						

業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
川島さくらんぼ	①ケアマネジャー	1457		0		1457	
	②117						
	③なし						
～介護者のつどい～ やきいもの会	①地域住民	32508		2800			32508
	②41						
	③100						
川島くらしの相談室	①地域住民	18000		0	18000		
	②5						
	③なし						
健康フェスティバル	①地域住民	131568		0	10000	121136	432
	②200						
	③なし						
多職種連携会議	①民生委員、CM、医療従事者	850		0		850	
	②87						
	③なし						
民生ケアマネ連絡会	①民生委員、CM	21057		0	16705	3780	572
	②48						
	③なし						
包括合同ケアマネ連絡会	①ケアマネジャー	18627		0	17205	1422	
	②516						
	③なし						
川島ニコニコウォーキング	①地域住民	600		0		600	
	②35						
	③なし						
区内病院認知症講座	①地域住民	0		0	0	0	0
	②70						
	③なし						
男みがき塾4	①65歳以上男性	20738	0	18400	6682	14056	
	②92						
	③200						
古い支度を考える ～エンディングノートを書いて みましよう～	①地域住民	0		0	0	0	0
	②16						
	③なし						
	①						
	②						
	③						

業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入				
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ほっとホット茶屋	①地域住民	38574	0	34600	0	38574	0
	②583						
	③100						
川島ハーモニードレミ	①地域住民	85395	0	83200	70161	15234	
	②996						
	③100						
健康講座	①地域住民	8961	0	0	0	8961	0
	②121						
	③なし						
ピーすらんど	①子育て中の親子	6000	0	0	6000	0	0
	②396						
	③なし						
ぺこぼこ教室	①子育て中の親子	111370	0	0	111370	0	0
	②354						
	③なし						
がっこうのかえりDE HIPHOPダンス	①区内個別支援 級 通学小・中学生	44544	0	0	44544	0	0
	②66						
	③なし						
すまいるぶらす	①地域住民	30728	0	29800	26728	4000	0
	②265						
	③200～300						
横浜いきいきポイント 登録説明会	①65歳以上の市民	0	0	0	0	0	0
	②3						
	③なし						
映画上映会シネマ川島	①地域住民	58323	0	0	0	0	58323
	②105						
	③なし						
大人のための交通安全講座 わたりジョーズ君	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②68						
	③なし						
ふれあいコンサート	①地域住民	10000	0	0	10000	0	0
	②47						
	③なし						
こども夏休み教室	①小学生	30657	0	12000	0	30657	0
	②68						
	③300～500						

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者 ②延べ参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額				
		総経費	収入			
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費
消防署が教えてくれる 避難訓練	①地域住民	0	0	0	0	0
	②35					
	③なし					
ほっとフレンズ2016夏 ボランティア研修・説明会と 夏祭り	①区内在住・在学 学齢障がい者	0	0	0	0	0
	②60					
	③なし					
川島文化祭	①地域住民	291760	0	89510	0	291760
	②600					
	③50～100 模擬店購入費用					
文化祭作品展	①地域住民	0	0	0	0	0
	②120					
	③なし					
川島文化祭音楽コンサート	①地域住民	48798	0	0	45,000	0
	②46					
	③なし					
貸室利用相談会	①地域住民	0	0	0	0	0
	②0					
	③なし					
ものづくり教室 わら細工	①地域住民	976	0	700	0	976
	②15					
	③100					
ほっとフレンズ2017春 ボランティア研修・説明会と 春祭り	①区内在住・在学 学齢障がい者	70	0	0	0	70
	②61					
	③0					
ほどがや区民まつり 地域交流ブース	①地域住民	0	0	0	0	0
	②450					
	③なし					
手芸教室	①地域住民	4252	0	1500	0	4252
	②3					
	③500					
ほっとフレンズ 防災センターへ行ってみよう お昼はカフェでランチ	①区内在住・在学 学齢障がい者	0	0	0	0	0
	②6					
	③なし					
ほっとフレンズ 親子でドラムを叩こう～音楽 で心と身体を動かそう～	①区内在住・在学 学齢障がい者	0	0	0	0	0
	②26					
	③なし					

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者 ②延べ参加人数 ③一人当たり参加費	自 主 事 業 決 算 額					
		総経費	収入				その他
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	
福祉学習	①小学生	0	0	0	0	0	0
	②276						
	③なし						
川島原ふれあいさんぽ	①地域住民	7767	0	0	0	7767	0
	②18						
	③なし						
地域支援者交流会	①地域住民	39795	0	0	0	32907	6888
	②59名						
	③なし						
室内スポーツポッチャ 「るーぷ」	①障がい者	8961	0	0	0	8961	0
	②87						
	③なし						
医療☆健康☆耳寄り講座2	①65歳以上の区民	0	0	0	0	0	0
	②20名						
	③なし						
出張相談室 in川島原	①65歳以上の区民	0	0	0	0	0	0
	②0						
	③0						
西谷元気塾	①65歳以上の区民	11000		0	11000		
	②41						
	③なし						
	①65歳以上の区民						
	②						
	③						
	①65歳以上の区民						
	②						
	③						
	①地域住民						
	②						
	③						
	①65歳以上の男性区民						
	②77						
	③400						
	①65歳以上の男性区民						
	②64						
	③						

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
～介護者のつどい～ やきいもの会	<p>【目的】 介護している方、もしくは介護を卒業された方が集い、介護者同士の情報交換の場を提供し、今後の生活の活力にしてもらう。</p> <p>【内容】 毎回違ったテーマで介護に関する情報提供や勉強会を行うとともに介護者同士が気軽に話せるような交流会、懇話会を行い、介護者のリラクゼーションにつながった。</p>	毎月第3火曜(5、8、11、1月休み) 年間計9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島くらしの相談	<p>【目的】 ①地域住民や介護従事者など高齢者を支援する専門職の方が気軽に権利擁護関連の相談ができる場を提供する。 ②コスモス成年後見サポートセンターの協力を受け、連携体制を強化する。</p> <p>【内容】 コスモスサポートセンターに所属する行政書士の方にケアプラザの一室で待機していただき、権利擁護関連(遺言、相続、成年後見など)の相談対応していただいた。包括職員も同席し、生活・介護の視点からも相談対応し、連携体制を築くことができた。</p>	奇数月(5、7、9、11、1、3月)第1水曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男みがき塾4	<p>【目的】 ①「外出が少なく、体が怠けている」、「特に趣味がなく家にばかりいて、人との交流が少ない」おおよそ60歳以上の男性を対象に外出機会をつくる。 ②男性同士の交流を深める機会とし、仲間づくりのきっかけとしてもらう。 ③ケアプラザの活動を知ってもらい、他の事業参加のきっかけとしてもらう。</p> <p>【内容】 計11回コースで体操、スポーツ大会、ウォーキング、ものづくりを通し、参加者同士の交流促進につながった。またケアプラザの自主事業や地域の支援活動を紹介し、参加者自身の健康活動、趣味活動への参加促進につながった。</p>	毎月第2木曜 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老い支度を考える ～エンディングノートを書いてみましょう～	<p>【目的】 地域住民(特に独居高齢者、高齢者世帯が多い川島原地区)へ将来の判断力の喪失や死に備えて準備する必要性を伝え自身のことを考えるきっかけとなる。</p> <p>【内容】 ①講演会 講師：高橋亮太 行政書士 ②無料相談会 相談員：コスモス成年後見サポートセンター横浜中地区 高齢化率高い、公団が並ぶ川島原地区で開催。講演会と個別相談会を通じ、自身で老い支度を考えるきっかけとなった。</p>	H28年10月26日 くぬぎ台コミュニティハウス

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
川島ニコニコウォーキング	<p>【目的】</p> <p>①地域住民に正しい歩き方を学んでいただき、日常生活に活かして、健康増進・介護予防とする。</p> <p>②年代を限定せずに広く地域住民の方々に参加していただき、交流の場を設ける。</p> <p>③住み慣れた地域をまわり、日頃気づかない地域の名所や季節の草花に触れ、リフレッシュする機会となる。</p> <p>④「川島さんぽ」に比べ距離を伸ばし、より運動負荷をかけたウォーキングを地域の方々に提供する。</p> <p>【内容】</p> <p>川島東部地区保健活動推進委員会と共催で開催。約2時間程度しっかり歩ける方を対象とし、川島地域ケアプラザ出発し、タカナシ乳業バラ園までウォーキング。参加者の多くが健康を意識し歩行し、参加者同士の交流を持ち楽しく参加出来た。</p>	平成28年11月29日 (火) 9:30~12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療☆健康☆耳寄	<p>【目的】</p> <p>①地域住民に向けた医療・健康に関する情報を提供し、生活の中で活かしてもらおう。</p> <p>②地域住民へ介護保険制度について理解していただき、気軽にケアプラザに相談できる事を理解していただく。</p> <p>③川島東部地区保健活動推進委員会と共催とし、連携体制を深める。</p> <p>【内容】</p> <p>第一部 「改めて見直そう生活習慣病」 保土ヶ谷区福祉保健センター福祉保健課健康づくり係</p> <p>第二部 「知っておきたい！介護保険制度」 横浜市川島地域ケアプラザ 地域包括支援センター 主任ケアマネジャー 福島 百合</p> <p>地域住民の健康や介護保険制度に関する関心が高いことがうかがえた。</p>	日時：平成29年3月22日(水) 13:30~15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張 相談室 in川島原	<p>【目的】</p> <p>①川島ケアプラザに来ることが環境的に大変な川島原地区の方の生活、介護、健康等の問題・不安を少しでも多く安心、安全につなげるようにする。</p> <p>②相談員が常駐する機会を定期的につくることで地域住民に川島地域ケアプラザを身近に感じてもらう。</p> <p>【内容】</p> <p>・地域包括支援センター職員がくぬぎ台コミュニティハウスへ出張し、総合相談(介護保険申請、健康、生活、権利擁護等の相談)を気軽に受けられる相談会を実施した。</p>	日時：平成29年1月26日(木)、3月23日(木) 計2回 いずれも14:00~16:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多職種連携会議	<p>【目的】</p> <p>地域ケアシステム構築のため、関係機関との連携できる関係作り。</p> <p>地域の事例を通して、医療・介護の多職種連携を考える。関係機関との連携できる関係づくり。</p> <p>【内容】</p> <p>地域に実際にあった事例を通して医療・介護・民生委員が連携の必要性を考える機軸となった。レビー小体型認知症について保土ヶ谷区医師会会長の山口医師より講義を頂いた。</p>	H28年7月6日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
民生ケマネ連絡会	<p>【目的】 口腔からの病気の危険性と個々食べるケアの必要性について学習し、健康的な生活習慣を身に着ける。</p> <p>【内容】 地域ネットワーク構築のため民生委員とケマネジャーとの連携推進事業。口腔からの病気の危険性を学び、正しい口腔ケアの方法を地域住民や高齢者へ伝えることを目的として実施した。</p>	H29年1月26日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クックGメン	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域の男性高齢者へ自分の健康状態の維持、改善のため栄養について学び食事への意識を高める。 ②地域との関わりが少なく、他者との交流が少なくなってしまった概ね65歳以上の男性を対象に、仲間づくりを促す。 ③調理実習で自分で料理することにより、食事について考えを高める。 ④参加者同士の交流を深める場とするとともに、終了後も自主活動として何らかの形で交流が続けられるよう意欲を持てるよう支援する。 <p>【内容】 定員10名で2班に分かれ地域のヘルスマイト指導の下毎回調理実習を行った。一緒に調理したものを食し、食後の片づけもおこない、反省会で調理や食事など内容についてみんなで話しあいを行った。 ・自分の健康状態を知り、健康への意識を高めていけるように、保健師による栄養講座を行い、健康意識の向上につながった。</p>	毎月第3木曜10:00 ～13:00 計9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クックGG	<p>【目的】 自分の健康状態を知り、健康への意識を高めていけるように、保健師による栄養講座を行う。定員10名で2班に分かれ地域のヘルスマイト指導の下毎回調理実習を行う。一緒に調理したものを食し、食後の片づけもおこなう。反省会で調理や食事など内容についてみんなで話しあいを行う。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①季節にちなんだ献立を自分達で考え、ケアプラザの栄養士の助言を受けながら自分達で積極的に活動することができた。 ②カロリー・塩分など健康のための食事作りに心掛けて楽しんで調理することができた。 <p>8月1月以外の毎月1回開催することができた。</p>	毎月第4木曜10:00～13:00 計10回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島さくらんぼ	<p>【目的】</p> <p>①地域のケアマネジャーへの相談支援をおこなう。 ②ケアマネジャー同士の悩みの共有や、意見交換することでケアマネジメント力の向上を目指す。 ③ケアマネジャーの知りたいこと、分からないことを把握し研修・勉強会の開催につなげる。</p> <p>【内容】</p> <p>・ケアマネジャーに気軽にケアプラザに集ってもらい、昼食を摂りながらざっくばらんに話をする。そのなかから困っている事や知りたいことなどケアマネジャーの悩みなど把握することができた。悩みを他のケアマネジャーと共有したり、情報提供することができた。ケアマネ同士の知識からミニ研修への発展することもでき、ベテランケアマネジャーと新人ケアマネジャーが同席することで知識の共有でき勉強の場となった。</p>	毎月第3金曜12:00 ～13:30 計10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出前講座 メッセンジャー 川島	<p>【目的】</p> <p>①地域の会合や集会に要望に応じて出向き、地域ケアプラザの概要や役割、地域交流・地域包括支援センターの専門分野（介護予防・健康、介護保険、権利擁護関係、子育て、障害関係）についての情報提供を行う ②ケアプラザを身近に感じてもらい、何かあればいつでも相談していただけるよう広報を行う</p> <p>【内容】</p> <p>直接地域の会館や会合に出向き、ミニ講座を実施。生活に役立つ情報（健康、介護、権利擁護関係、子育て、障害関係）をわかりやすく提供することができた。また、ケアプラザ（包括支援センター）を身近に感じてもらえるよう周知実施した。</p>	随時 年間30回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハッスル体操教室	<p>【目的】</p> <p>①全身の筋力の維持、柔軟性を高め転倒予防を図る ②体を動かすことや声を出すことで脳を活性化させ、認知症予防を図る ③地域の方々が交流できる場の提供</p> <p>【内容】</p> <p>① 脳の体操（手指、足先を動かしながら声も出すという2つの動作を同時に行う） ② 座位・立位によるストレッチ ③ ストレッチボールやセラバンドを用いて筋力トレーニング</p> <p>運動レベルは軽度、足腰の悪い方や軽度の認知症がある方でも参加可能なやさしめコース設定とし、体操教室自主グループへの窓口とし、一人2年コースで開催。</p>	毎月第1・3火曜 計18回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビギナーヨガ	【目的】 ①はじめて運動を始める方への事業として、全身の筋肉維持や関節を柔軟にし、健康づくりや介護予防を図る ②心と体のコリをほぐし、メンタルのバランスを整える ③地域の方々が交流できる場の提供 【内容】 ①座位にて呼吸法、上肢の筋肉を鍛えるポーズ ②立位にてバランスや柔軟性を高めるポーズ ③仰臥位にて瞑想、リラクゼーションポーズ 運動レベルは軽度、はじめてヨガを始められる方を対象としたやさしめのコースとして、一人2年コースとして開催。	毎月第1金曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域後方支援事業	【目的】 ①地域の方々が健康づくり・介護予防のため継続して活動していけるように支援（情報提供や実技指導など）を行う ②地域の活動状況の把握（体操教室、茶話会、食事会、老人会など） 【内容】 ①地域内で活動している場に訪問し、体組成計などの健康器具を用いて健康チェックや体操・レクリエーションを行った。 ②地域の方々が継続して活動していけるように後方支援（情報提供や実技指導など）を行った。	随時開催 計19回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あったかサロン ぬくぬく	【目的】 ①ケアプラザまで足を運べない方々が身近な場所で交流できる場の提供。 ②体を動かすことや声を出すことで脳を活性化させ、認知症・介護予防を図る。 【内容】 ①テーブルでお茶を飲みながら一息できる空間をつくり、歌や体操など参加者全員で楽しむ。 ②参加者が孤立しないよう話し相手のボランティアを配置し、声掛け等を実施し交流の支援を行った。 ③職員を2名以上配置し、自主事業の案内や参加者からの要望などを収集できる体制をとった。	毎月第4月曜 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西谷元気塾	【目的】 ①介護予防に関する知識の習得 ②参加者自ら介護予防に取り組むためのきっかけづくり ③生活機能の維持・改善が必要な方の把握 ④川島ケアプラザの周知 【内容】 1回目：健康体操（講師：山口麻里氏） 2回目：熱中症予防講座（講師：大塚製薬株式会社） 3回目：高齢者の栄養について（講師：SOMPOケアリスト） 4回目：お茶飲みサロン	H28年6月4日 H28年7月2日 H28年8月6日 H28年9月10日 計4回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島元気塾	【目的】 ①介護予防に関する知識の習得 ②参加者自ら介護予防に取り組むためのきっかけづくり ③生活機能の維持・改善が必要な方の把握 【内容】 1回目：お口の健康と体の健康 2回目：音楽に合わせて口腔体操 3回目：表情筋エクササイズ 4回目：寝たきりにならないための食事出来る5大予防	H28年10月31日 H28年11月14日 H28年11月28日 H28年12月12日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	【目的】 ①地域の方々に認知症について正しく理解してもらう。 ②認知症になっても地域の中で安心した生活ができるよう、認知症の方への対応のしかたについて考える機会を設ける。 【内容】 認知症に関する講話や認知症の方への接し方などの寸劇 【実施団体】 ・朋栄交通（3日間） ・モアクレスト上星川 ・川島小学校3年生 ・川島地域ケアプラザ ・西谷中学校3年生	H28年7月12日 H28年7月13日 H28年7月14日 H28年7月23日 H28年11月17日 H28年11月25日 H29年2月24日 計7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
川島健康づくり隊	【目的】 ①地域の方々が健康で生きがいのある活動的な生活を送ることができるように、健康づくりや介護予防に取り組むグループを支援する ②地域の方々のグループ活動等をサポートできる人材の育成 【内容】 健康指導講師より認知症予防のレクリエーション、転倒予防のストレッチの方法と体操教室の開催・進行方法の指導を受けた。 地域に出向き、活動中の地域グループの中で1日ボランティア体験をし、体験したことを参加者と講師で共有し次への活動に活かすことを確認した。	H29年2月22日 H29年3月8日 H29年3月22日 ボランティア体験1日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり隊フォローアップ「認知症予防ファシリテーター研修」	【目的】 ①健康づくり隊卒業生が活動を継続していくための支援 ②卒業生同士が交流をはかり、今後の活動に役立てて頂く ③健康づくり隊卒業生が活動する場の提供 【内容】 NPO認知症サポートセンターより講師を招き「料理」「旅行」「ウォーキング」の分野で認知症予防講座の開催の仕方、進行や自主化への方法を学んだ	H28年12月5日 H28年12月6日 計2回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内病院認知症講	<p>【目的】 病院に診察に訪れる方やその家族を対象として認知症講座を開くことで、普段ケアプラザに来る機会のない層へ、認知症に関する正しい知識を持って頂く機会とする。 また、併せてケアプラザに関する周知活動も行うことで、区内全体でのケアプラザへの認知度向上も目指す。</p> <p>【内容】 育生会横浜病院では、病院側から「地域包括ケア病棟」と「認知症について」、「老健、特養の違い」の部分の講演を実施。また、ケアプラザからは「自宅での生活を支える役割と機能」と題し、包括の役割を中心とした講演を実施した。 横浜保土ケ谷中央病院では、区役所から「地域包括ケアシステムについて」、横浜保土ケ谷中央病院側から「認知症について」と「地域包括ケア病棟」の部分の講演を実施。また、ケアプラザからは「介護保険・地域ケアプラザの役割について」と題し、包括の役割を中心とした講演を実施した。</p>	H28年10月22日 育生会横浜病院 H28年11月4日 横浜保土ケ谷中央病院

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島さんぽ	<p>【目的】 ①歩くことで下肢の筋肉を刺激、脳の活性化させ、健康づくりに役立ててもらおう。 ②参加者同士の交流の場を設ける。 ③景色をみながら会話や身体を動かすことで精神的にリフレッシュを図る。</p> <p>【内容】 血圧測定を行い、ウォーキングができる健康状態かを確認する。保健活動推進員の方々を紹介し、会長より一言頂く。コースの説明後、準備体操を行い、全員揃っているか確認し、出発する。 保健活動推進員、職員が前・中・後の配置に分かれ、参加者の交通安全に注意しながら歩く。 5. 10月は悪天候のため中止とし、H29.3 帷子川沿いを歩き田原橋公園、川島西公園で休憩、水分補給、トイレの案内、集合写真撮影を行う。また、えかたりーべによる紙芝居を実施する。川島はまっこスクール、地域活動ホームウィアーから職員、利用者の参加もあった</p>	H29年3月30日 計1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほっとホット茶屋	<p>【目的】①地域住民が気軽に楽しく集える場を提供し、参加者同士が交流を深め、地域とのつながりを広げる。②ボランティア活動者が地域住民へ活動を発表する機会を設け、ボランティア活動の活性化を図る。③参加者が共通の趣味活動を通して交流し、仲間意識を持った活動の場が広がるようにする。</p> <p>【内容】午前：①テーブルでお茶と茶菓子を飲みながら一息できる空間をつくり、一人での参加者が孤立しないよう話し相手のボランティアを配置し、声掛け等を実施し交流の支援を行った。②ボランティアの発表の場としてボランティア活動支援を行うと共に、歌や体操など参加者全員で楽しめるよう環境づくりを行った③職員を1名以上配置し、自主事業の案内や参加者からの要望などを収集できる体制をとった④月1回誕生会を実施しその月が誕生月にあたる参加者に参加者全員で歌とカードのプレゼントを行った。午後⑤趣味活動の意向を参加者に伺い、材料の準備と実施できる環境を整え、多くの参加者が一緒に楽しめる場を継続的に提供できるようにした。また、作成した作品を地域住民に発表する場を設けた⑥午後はフリースペースとして、昼食を食べたり自由に過ごしてもらおうスペースとした。</p>	毎月第2・4火22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島ハーモニードレミ	<p>【目的】①地域住民だれもが気軽に参加できる内容の音楽会とし、また、音楽を通じた地域住民の交流の機会をつくる。②地域住民が参加するだけでなく、活動の中で参加者が仲間意識を持てる場を提供し、また地域活動への意欲を引き出す。③心身に支障がある方や、外出の機会が少ない方が、気軽に参加し、地域とのつながりを持つ場を提供する。</p> <p>【内容】①季節感を歌から感じてもらうよう、毎月季節にあった曲、愛楽曲として、毎回唄う曲を講師に選曲してもらいピアノの伴奏にあわせて合唱した。歌詞カードを配布し、歌詞がわからない歌でも歌えるようにした②参加者同士が顔見知りの関係が築けるように、ボランティアや職員で初めての参加者やひとりでの参加者、要支援者などに特に気を配り交流の支援を行った③事業の参加の意欲を高める為に、文化祭で合唱する方を募集し、出演する。曲は参加の投票で決定し文化祭への参加意欲を高めた。④要支援者のフォローや会場設営、歌詞カードづくりなどの活動のボランティアを募集し、職員は後方支援をしながら実施した。</p>	毎月第2金・第4木22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康講座	<p>【目的】①地域住民に日常ありがちな病気について理解を深め、日常生活に役立つ情報を発信し、病気の予防、健康への意識向上を図る。②健康についての地域住民のニーズを探り、不安や悩みの解消をはかる。</p> <p>【内容】①毎月テーマを変えて講座を実施した。認知症、花粉症、不眠症など地域住民からの要望に対応した内容とした。③講義後、質疑応答の時間を設け、参加者からの意見や悩みに講師が対応した。また、質疑応答の時間では発言を控えたい方などの質問受付はアンケートで行い、次回実施日に講師が対応した。</p>	毎月第2木・10回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
室内スポーツ ボッチャ 「るーぷ」	<p>【目的】①障がい者と地域住民との交流を図り、スポーツを通して相互理解の促進、障がい者の余暇の充実、社会参加の機会を増やすことを目的とする。②普段、スポーツに触れる機会が少ない障がい者や身体に支障を抱えている方を対象に無理なくスポーツを楽しんでもらう環境づくり、心と身体のリフレッシュと健康の支援を行う。③ ボランティアの活動の場として、活動の推進、ボランティアの育成を行う。</p> <p>【内容】①パラリンピック正式種目『ボッチャ』をチーム戦や個人戦で行った。当日の進行リーダーを参加者に担ってもらい、初めての参加でもルールを誰もが理解できるように工夫した。②参加者に目的を持ってもらう為に、日頃の成果を発揮する場として総合大会を開催した。交流の時間も設け参加者同士の親睦を図った。④参加者の身体の状態を把握し、ボランティアとサポート体制の打合せを行い障がい者のサポート等を担ってもらった。</p>	毎月第4土・10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぴーすらんど	<p>【目的】①子育て中の親子が気軽に集い、友達づくりや情報交換ができる場の提供。②子育てに不安があったり、育児に悩む親へ地域の子育て支援事業者や相談場所の情報提供を行う。③子育て支援に興味を持つ地域住民のボランティア活動の場とし、地域交流等を図り、地域で子育て支援をする体制を形成していく。</p> <p>【内容】①親子が自由に時間を過ごせるフリースペースをつくり活発な情報交換が行われた。②職員、ボランティアで子どもを見守りを行いながら、親子と一緒にリズム体操に参加できるようサポートをした。③参加者が孤立せず、継続的に参加してもらえるよう、参加者同士の交流を促し、顔のみえる関係づくりを行った④地域や子育て支援関係機関から収集した情報を、必要とする親子に情報提供した。⑤ボランティアと親子が交流を図れるような体制を整え、ボランティアが充実した活動ができるようにした。</p>	毎月第2水・11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぺこぼこ教室	<p>【目的】①身近な相談場所として、子育ての不安や悩みなどに対応し、支援を行う。②区役所子ども家庭支援課への情報提供、連携を行い、子どもの発達障がいの早期発見支援に繋げる。③子どもの状況に応じて発達支援を行い、生き生きとした社会参加を実現させる。④発達に障がいがある、または障がいの疑いがあるお子さんとその親の居場所づくり</p> <p>【内容】親子と先生が遊びと音楽を通してふれあいながら、お子さんの発達の状況に応じて、お子さんの支援、親の相談対応を行った。反省会では、本日の進行の振り返りを講師よりコメントをもらい、参加者の子どもの発達状態について話合った。別途支援が必要と思われる子どもについては、講師に確認し、子ども家庭支援課へ情報提供を行った。</p>	毎月第4水・12回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
がっこうのかえりDE HIPHOP ダンス	<p>【目的】①子どもの状況に応じて発達支援を行い、音楽を通して、生き生きとした社会参加を実現させる。②発達障がいを持つ子ども達が地域で安心して暮らせるよう地域住民の発達障がいに対する理解を促す。③発達に障がいがある、または障がいの疑いがあるお子さんとその親の居場所づくり</p> <p>【内容】講師がダンスを通して発達障がいを持つ子どもとふれあいながら、お子さんの発達の状況に応じて、踊りの指導を行う。子どもと保護者が一緒に体を動かしコミュニケーションを図る場ともなった。川島文化祭で発表の場を設け、社会参加を実現させた</p>	毎月第2火・10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すまいるぶらす	<p>【目的】①地域住民が生活を豊かに楽しく過ごしてもらえるようする。②貸室活動団体が地域住民と繋がる機会を設け、貸室活動団体の人数増加や活動の活性化を目指す。③地域住民が共通の趣味活動を通して交流し、仲間意識を持った活動の場が広がるようにする。</p> <p>【内容】貸室団体や地域のボランティア団体が講師となり、趣味活動の体験を行った。体験後は貸室団体の紹介、活動参加を呼びかけた。実施した内容は①大正琴体験②社交ダンス③フォークダンス(2回)④パステルシャインアート⑤詩吟で百人一首を謡おう</p>	不定期・14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜いきいきポイント 登録説明会	<p>【目的】①地域の高齢者の健康増進や介護予防、社会参加や地域貢献を通じた生きがいづくりとしてボランティア活動を促進する。②新たにボランティア活動を開始するにあたり「よこはまシニアボランティアポイント事業」の制度の概要や活動の心構えなどを理解してもらう。③ケアプラザでのボランティア活動の周知と活動促進</p> <p>【内容】①よこはまボランティアポイントのテキストに沿って、講師による研修会を実施した。 ②参加者に活動一覧資料を配布し、ケアプラザのボランティア活動紹介を行った</p>	H28年6月15日1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康フェスティバル	<p>【目的】自己の健康状態を確認すると共に健康に対する意識、関心を持ってもらう。川島地域ケアプラザの周知と地域住民の交流</p> <p>【内容】①いずれも子どもから高齢者まで体験してもらえる内容とした。(健康測定、さわやかスポーツ、健康講座、体操レッスン、チャレンジポッチャ、ヘルスマイトコーナー、スタンプラリー)②地域役員、ケアプラザボランティアに各コーナーを担当してもらい、地域住民との交流の場をつくった。③体操レッスンは貸室団体に日頃の活動を発表する場を提供した。地域住民に活動の周知を行い、参加を呼びかけ、貸室団体の活動の活性に繋げた。</p>	平成28年6月25日・1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
映画上映会 シネマ川島	<p>【目的】①身近な場所で映画を楽しんでもらい、リフレッシュしてもらおう。②地域へのケアプラザ周知</p> <p>【内容】『東京家族』『おとうと』を上映。スクリーンに映像を写し、参加者にはイスに座ってみて頂いた。ケアプラザの事業等の周知を行った。</p>	平成28年6月28日・ 平成28年11月29日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のための交通安全講座 わたりジョーズ君	<p>【目的】①高齢者の交通事故が多発している現状を地域住民に周知する。②地域住民に歩行能力と判断能力の確認してもらい、道路横断中の死亡事故を防ぐ。</p> <p>【内容】①歩行環境シュミレーターで、交通環境を参加者全員に疑似体験してもらい、神奈川県警交通安全教育隊が体験を踏まえた交通安全についての講座を行った。</p>	平成28年6月7日・ 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいコンサート	<p>【目的】①障がい者の活動の場を提供し、地域住民と障がい者との触れあう場として、地域住民へ障がいの理解を図る。②多世代の方々に生の演奏を気軽に楽しめる場を提供する。③川島地域ケアプラザの活動の周知・PRの場とする。</p> <p>【内容】障がいを持つ4名の子どもと親で構成される「音のりぼん」の演奏会。親が参加者に障がいについて理解してもらうために話をし、演奏を実施。4組の親子がそれぞれ参加者と交流を図りながら、ピアノ演奏を行った。また、参加者に歌詞カードを配布し、演奏と共に参加者と出演者が一緒になって歌った。「音のりぼん」の活動周知もを行い、参加者へ活動支援の呼びかけを行った。</p>	平成28年7月9日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども夏休み教室	<p>【目的】①夏休みの思い出としてもものづくりを行い、子どもたちに、ものづくりのおもしろさを知ってもらうことを目的とする。②子どもたちの安全で安心して過ごすことのできる居場所としてケアプラザの周知を行う。③地域住民や異学年との『交流活動』により日常において挨拶を交わせるよう顔見知りの関係を築く。</p> <p>【内容】小学生全学年を対象に実施した。①パステルシャインアートは親子での参加もあり、配色する楽しさを親子で楽しんでもらった。②万華鏡「光の屈折」の実験とキットを使った万華鏡づくりではグループワークを行い、科学の面白さを知ってもらいながらものづくりを行った。③お料理教室は地域のヘルスマイトの協力で実施した。手洗いの大切さの話をしてから料理を開始。学年毎に年齢にあった調理工程を担当してもらいヘルスマイト指導の元、料理を行い、作った料理を全員で食した。</p>	平成28年8月3日・4日・5日・3回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消防署が教えてくれる避難訓練	<p>【目的】①住民を対象にAEDの使用法の習得してもらい、ケアプラザをより安全に利用してもらうことを目的とする。②ケアプラザ職員が火災に備え、初期消火、利用者誘導、人命救助を的確にできるようにする。</p> <p>【内容】参加者へケアプラザの避難経路の説明を行った。地域住民、障がい施設利用者、貸室団体が参加し、調理室出火を想定した避難訓練を行った。消火器訓練では初期消火について説明を受けてから、水消火器を使い訓練を行った。AED訓練はマネキンを使って行った。大人・子どもの対応の違いやAEDの使用時の注意点周囲の協力を要請するなど、救急車が到着するまでにすべきことなどの話があった。また3名一組となり役割を確認しながら訓練を行った。また、参加者から使用方法について質問に対応し、救命救急に対する意識を向上させることができた。</p>	平成28年9月28日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2016夏ボランティア研修・説明会と夏祭り	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。</p> <p>【内容】参加者へケアプラザの避難経路の説明を行った。地域住民、障がい施設利用者、貸室団体が参加し、調理室出火を想定した避難訓練を行った。消火器訓練では初期消火について説明を受けてから、水消火器を使い訓練を行った。AED訓練はマネキンを使って行った。大人・子どもの対応の違いやAEDの使用時の注意点周囲の協力を要請するなど、救急車が到着するまでにすべきことなどの話があった。また3名一組となり役割を確認しながら訓練を行った。また、参加者から使用方法について質問に対応し、救命救急に対する意識を向上させることができた。</p>	平成28年7月30日 8月7日2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島文化祭	<p>【目的】①ケアプラザの貸室利用団体の活動の場を提供し、活動周知を地域住民に行う。②芸術に興味を持つ方に足を運んでもらい、ケアプラザを拠点とした新たなコミュニケーションを形成する機会をつくる。③地域住民の活動を紹介すると共に地域資源の発掘を行う。</p> <p>【内容】文化祭週間の最終日の事業として模擬店、地域コンサートを実施した。貸室団体の活動の周知の場としてコンサートを行い、地域住民に楽しんで頂いた。子ども向けにも趣向を凝らし、アートバルーンやマジックショー、サイエンスショーなどを設けた。</p>	平成28年11月13日 1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
文化祭作品展	<p>【目的】①芸術に興味を持つ方に足を運んでもらい、ケアプラザを拠点とした新たなコミュニケーションを形成する機会をつくる。②地域住民の活動を展示することで、地域の魅力として地域を盛り上げ、一体感をつくる。③地域住民の作品を紹介すると共に地域資源の発掘を行う。</p> <p>【内容】地域住民の手作り作品を募集し展示を行った。出展者からのメッセージ、PRなどを作品と共に展示し、活動の周知を行った。出展者には、必ず展示会場案内係りをボランティアとして担ってもらい地域住民との交流の場を設けた。</p>	平成28年11月1日 ～11月10日・1回
川島文化祭 音楽コンサート	<p>【目的】①地域の身近な施設で、多世代の方々に生の演奏を気軽に楽しめる場を提供する。②川島地域ケアプラザの活動の周知・PRの場とする。③音楽を楽しんで頂くと共に文化祭に出展された作品を観て頂く機会とする。また、地域アンケートへの参加も促し、アンケートの参加者を増やす。④5周年記念として職員のパフォーマンスを行い地域民へ感謝の気持ちを伝える</p> <p>【内容】5周年記念として職地域住民へ感謝として記念タオルを配布、職員のパフォーマンスを行った。コンサートは馴染みの曲をアレンジして参加者も一緒に歌える内容であった。</p>	平成28年11月5日 1回
貸室利用相談会	<p>【目的】①貸室利用促進と周知 ②地域の支援団体に広く周知し、活動の場を提供する。</p> <p>【内容】貸室について個別相談の時間を設け、その方であった貸室利用の説明を行う予定であったが利用者なしであった。</p>	平成28年11月21日 1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2017春 ボランティア研 修・説明会と春 祭り	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。</p> <p>② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。</p> <p>【内容】区内障がい児者関係機関と連携し、ほっとフレンズ実行委員会で余暇プログラムを企画。実行委員会のメンバーで、総務、会計、プログラム、ボランティアと4つのグループに分かれ当日まで役割を担った。室内プログラムで、参加者とボランティアがペアになり、模擬店とマラカスを作り、仏向バンドと音楽遊びを楽しむ企画をたて、地域へ広報した。ボランティア募集は近隣の高校、大学などに案内を郵送。また高校のボランティア部に直接依頼。高校生、大学生など8名のボランティアが参加した。またケアプラザのボランティア8名が参加者とペアになったりレクレーションや調理補助として参加した。実施日前にボランティア説明会を実施し、保土ヶ谷養護学校の教諭による、ボランティア研修と注意事項の説明を行い、障がいの理解に努めた。</p> <p>参加人数の内訳①ボランティア説明会 12名 ②2017春参加者12名 ボランティア21名（ケアプラザ8名含む） 仏向バンド16名</p> <p>経費については、川島地域ケアプラザが取りまとめを行い、総額98070円でした。</p> <p>そのうち、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業の補助金（92,000円）及び参加費6,000（@500円×12人）差し引額70円は川島地域ケアプラザ負担。</p>	平成29年3月24日・ 3月26日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ものづくり教室 わら細工	<p>【目的】①ものづくりを通して、地域住民の交流の場を提供する②地域のボランティア活動を参加者に知ってもらう。</p> <p>【内容】ほどがや元気村のスタッフに指導してもらいながら、わら細工づくり（かめ）を行った。また、ボランティア活動についての話をしてもらい、地域のボランティア活動を知ってもらう機会とした。</p>	平成29年1月18日 1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほ도가や区民まつり 地域活動交流 ブース	<p>【目的】区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行った。 来場者に声をかけ、前回の内容を更に工夫し、マップは各CPで掲示できる様式にて作成。区民まつり来場者に声をかけ、マップにおススメの場所などを地図上に記入をしていってもらった。自分のエリアのマップにお勧めの場所だけでなく、危険な場所なども記入してもらった。区全体のマップを前方目立つように置いて来場者の興味がわくようにした。同時に来場者のケアプラザに対する実態を知るアンケート調査を実施した。マップを該当エリア毎に作成し、ケアプラザの職員が来場者と直接コミュニケーションを図れるよう工夫した。 その他、該当エリアにあるケアプラザの広報紙の配布や生活支援コーディネーターの周知も実施した。</p>	平成28年10月15日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手芸教室	<p>【目的】①ものづくりを通して、地域住民の交流の場を提供する。②ものづくりを通じた交流が継続して行われるよう、自主グループ結成を促進する。③専門の講師による指導により、趣味を持つことの楽しさを伝え、地域住民の生活に豊かさを加えることを目的とする。</p> <p>【内容】手芸教室『なごみの七宝まり』 事前に布の裁断等を行い、個別のキットを用意した、講師のレシピを参考に、講師が説明しながらものづくりを行った。</p>	平成28年10月20日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
防災センターへ 行ってみよう お昼はカフェで ランチ	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ②親子で安心して外出のできる活動場所を地域の資源を利用して親子同士、交流を図る。 ③ケアプラザと他関係機関と連携して合同事業の拡充を図る。</p> <p>【内容】横浜市市民防災センターの見学及び体験会。災害シアター（アニメ版）・地震シュミレーター・減災シュミレーター・火災シュミレーター係員の案内で親子で体験する。防災センターのミニ消防車の前で記念撮影を行う 昼食は地域のカフェを利用して参加者同士の交流を図った</p>	平成29年2月25日・ 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でドラムを 叩こう～音楽で 心と身体を動か そう～	<p>【目的】①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供する。②子どもたちの安全で安心して過ごすことのできる居場所としてケアプラザの周知を行う。 ③関係諸学校及び関係諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となれるように継続的に努める。④本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機会とする。</p> <p>【内容】超音樂のお遊び集団じゃねんずを講師に招き、親子でドラム等の楽器演奏とダンスを楽しむ機会を提供。1部がドラムワークで、お茶会で交流後、2部がダンスワークを実施。親子が一緒に楽しむことで親が子どもの成長を確認できた。また、親もストレス発散をして喜んでいた。1/22地区センターで実施。</p>	平成29年1月22 日・1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉学習	<p>【目的】『福祉』とは何かを学んでもらい、「福祉」を特別なものではなく身近なことと理解してもらう。</p> <p>【内容】学年毎にテーマを設け学習してもらう。1年ケアプラザについて、2年福祉とは、3年認知症、5年車イス体験を実施した。また保土ヶ谷区社会福祉協議会との協力体制を取り、4年生は聴覚障害について学習を行った。</p>	平成28年11月17日 ～12月5日・5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島原ふれあいさんぽ	<p>【目的】①さんぽを通じて地域の情報共有を行い参加者どうしの交流の場をつくる。②ケアプラザまで出にくい方や1人暮らしの高齢者にも気軽に参加できるようにする。③歩くことで下肢の筋肉を刺激、脳の活性化させ、健康づくりに役立ててもらう。</p> <p>【内容】血圧測定を行い、ウォーキングができる健康状態かを確認する。川島原地区民生委員の方々に協力してもらい参加者の見守りをしながら陣が下溪谷を参加者の歩くペースにあわせて実施した。西原集会所でクリスマスツリーを作成しながら参加者同士の交流を図った。</p>	平成28年11月2日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援者交流会	<p>【目的】①エリア内の自主活動グループやケアプラザで活動するボランティアがお互いの親睦を図り、今後の活動に活かすことができる情報交換を行う場の提供②地域活動支援者にケアプラザの機能・支援について知ってもらう。</p> <p>【内容】①活動内容が類似している支援者同士で席を設ける。「つながるほっとページ」の内容紹介は、代表者へ活動に関するインタビューを行いながらより深く活動を知ってもらうようにした。②茶菓子を用意して、自由に情報交換ができるよう歓談の時間を設けた。③グループ同士の交流が図れるようグループ対抗のゲームを行った。③参加者には事前に活動内容を情報提供してもらい、情報をまとめて冊子「ほっとページ」を内容更新し、参加者へ他の地域の活動を周知した。</p>	平成29年3月29日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
包括合同ケアマネ連絡会	<p>【目的】テーマに沿った講演会、勉強会を通じてケアマネジャーのスキルアップを図る。</p> <p>【内容】 ・ケアマネジャー業務を円滑に行うために必要な介護保険制度や「虐待」、「障害制度」、「医療連携」などの情報を提供。11月には多職種連携会議とし、基調講演、横浜市民病院の山口医師より「高齢者虐待の基礎知識」と、地域包括ケアシステムの話。虐待事例の事例検討。顔の見える関係づくりを行った。</p>	計10回